日本ベトナム研究者会議 2026 年度研究大会

【プログラム】

日時：2026 年 12 月 20 日（日）9:00～17:30

場所：東洋文庫 2 階 講演室（ハイフレックス）

第一部：自由研究発表

9:00–9:30　報告 1「日本におけるチャンパー由来の物質文化――伽羅、チャンパンの旗、チャンパ裂、鮫皮のチャンパ、チャンパン焼物師を中心に」
新江 利彦（東洋大学アジア文化研究所・客員研究員）

9:30–10:00　報告 2「19 世紀の反仏運動指導者チュオン・ディンを崇拝する人々――メコンデルタの英雄を国家とローカルの二側面から考える」
南方 謙志（神戸大学・博士前期課程）

10:00–10:30　報告 3「ベトナム共産党の文芸政策に関する一考察（1960 年ー1980 年代）―― 漢詩喃詩集『瑠香記』の発見とその受容」
鷲頭 小弓（立教大学・兼任講師）

10:30–11:00　報告 4「日本文学におけるベトナム戦争の表象――『ベトコン』を手がかりに」　張 雅（大阪大学国際機構）

11:00–11:30　報告 5「ベトナム北部の産業集積と経済発展の研究――産学官連携の視点から」　村田 友司（法政大学・博士課程）

11:30–12:45　昼食休憩

12:45–13:15　報告 6「民族内の『国際結婚』――中越国境地帯における婚姻実践と国家の影響」　柯 燁佳（上智大学）

13:15–13:45　報告 7「人生設計のなかに日本就労を位置付けるベトナム人たち――ナムディンの日本語学校修了生への追跡調査から」
藤倉 哲郎（愛知県立大学）

13:45–14:15　報告 8「在日外国人の在留資格と犯罪傾向――ベトナム人移民への量的分析と質的調査からの知見」
Nguyen Hoang Thanh Danh（早稲田大学）

14:15–14:45　報告 9「EPA 出身ベトナム人女性の国際結婚後のライフコース: 文化資本の再配置と三つの統合類型」 Pham Quynh Lien（ベトナム国家

大学ハノイ校・博士課程／専修大学・外国人研究員）

14:45–15:15　報告 10「クオックグー（quốc ngữ）声調記号の起源についての一考察 ――グレゴリオ聖歌ネウマ譜との関連を探る」

吉井 美知子（沖縄大学・非常勤講師）

15:15–15:30　休憩

15:30–17:30 第二部：企画パネル「『なぜベトナム？』から始めよう――研究・教育・社会をつなぐ現場から」（詳細は調整中）

登壇者：岡田雅志（防衛大学校）、伊藤未帆（神田外語大学）、
松尾智之（一般社団法人日越食文化協会 CEO）

18:00- 懇親会　（詳細は調整中）